

充実した2学期に

校長 大野 郁子

35日間の夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりました。80日間の2学期には、水泳授業、ふるさと遠足、持久走記録会、北っ子フェスティバルなど、様々な活動があります。全校で行う活動だけでなく、各学年でも、様々な活動を計画しています。始業式に子どもたちには、目に見えない「無形の財産」について話をしました。

「財産」というと、みなさんはどんなものを思い浮かべますか。お金、または貴金属、不動産、株などのお金に換えられるものを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。私も子どもの頃、その様に思っていました。ところが、父の言葉でその価値観が少し変わりました。私の育った家は、経済的にはあまり裕福とはいえず、日々の生活も儉約して、好きなものを自由に買えませんでした。そんな生活の中、父は、兄と私にこんな話をしました。「うちは経済的にはあまり余裕はないけれど、何としても二人を学校には出してあげようと思うよ。学んだこと、経験したことは、頭や心の中にあって誰も盗むことのできないものだからね。それを財産としてお前たちに残すよ」と。その言葉のとおり、両親は、生活を切り詰め、兄と私を大学まで出してくれました。それは長岡で生まれ育った父なりの「米百俵の精神」だったのかもしれませんが。

私は、その後の人生で、この時の父の言葉を思い返すことが度々あります。そして、教員になった今、机上の学習はもちろんのこと、それだけでなく、活動から得る学び＝「経験」こそ、その人の財産になるということを実感しています。何かをやった経験は、記憶やスキルとしてその人に蓄積され、将来の行動を支える土台となります。判断するときの指針にも教訓にもなります。それは、成功体験だけでなく、失敗体験も、その後につながる大切な学びとなります。また、経験をとおして得られる人とのつながりも、人生の大きな財産となります。

子どもたちには、学校、家庭に限らず、失敗を恐れず、いろいろな活動の中で積極的に挑戦してほしいと思います。挑戦することでたくさんの経験をすることができます。それは必ずしも成功だけではないかもしれませんが。発明王エジソンは「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないこと」という名言を残しています。勇気をもって何かに立候補したり、応募したり、失敗を恐れずに、挑戦することで多くの経験をしてほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様からは、2学期も変わらず子どもたちの活動を支えていただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。